

6 地域包括支援センターにおける対応事例

上越市版地域包括ケアシステムの構築に向け、令和2年度から市内11の地域包括支援センターにおいて、これまでの高齢者からの相談に加え、「障害のある人、生活困窮や引きこもりの状態にある人」の相談にも対応する体制を整えました。

事例	概要・主な生活課題	相談内容	相談への対応と現在の状況
1	<p>○障害がある人に関する相談</p> <p>【概要】 統合失調症があるが病識が乏しく、医療が中断、地域でも心配されていた事例</p> <p>【主な生活課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・服薬拒否、医療中断 ・福祉サービス利用拒否 	<p>昼夜を問わず大声を出す、道路を蛇行しながら歩くなど奇行があり、医療機関や近隣等から相談</p>	<p>【対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本人との信頼関係づくりのため、地域包括支援センターで複数回の訪問を実施 ・支援者会議の開催など、支援ネットワークを構築 <p>【現在の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期受診、訪問看護につながり、服薬拒否も改善。 ・障害福祉サービスの利用にもつながっている。
2	<p>○生活困窮に関する相談</p> <p>【概要】 年金収入はあるが、使い方の問題等で生活困窮していた事例</p> <p>【主な生活課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家賃や光熱水費の滞納 ・医療受診の中断 ・質屋貸付利用の常態化 	<p>医療機関の受診も出来ず、食料も購入できない状態であるとの生活困窮に関する相談</p>	<p>【対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フードバンクによる食糧支援 ・セーフティネット事業の活用 ・生活相談・家計改善支援(滞納整理、家賃減免手続き等) <p>【現在の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・滞納を分納にするなど、家計改善を進め、家計は安定。 ・生活に対する意識の変化が見られたため、生活困窮ケースとしての対応は終了。継続的な見守り支援を行っている。
3	<p>○ひきこもりに関する相談</p> <p>【概要】 中学卒業後からひきこもるが、本人に困り感がなく、家族から相談につながった事例</p> <p>【主な生活課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校には進学せず、徐々に外出をしなくなる 	<p>ひきこもり状態の解消</p>	<p>【対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的な訪問や来所による家族面談を実施 ・家族それぞれの困り感が共有されるよう調整 <p>【現在の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本人は支援者の介入を望まず ・家族との面談を続け、本人と直接つながるタイミングを模索中